

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年12月19日更新

事務事業名	市バスの維持管理事業(旧事業名：市バスの管理の適正化事業)		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	総務企画部	課長名 中島正剛
体系	施策	15 健康づくりの推進	所属課	総務課	担当者名 岐部則夫・小西靖浩
	基本事業	43 病気になる生活習慣の確立	所属班	総務・男女共同参画班	(内線) 1218
予算科目	会計一般	款 2 項 1 目 1 事業連番 11503 法令根拠	合志市バス管理及び使用規程		成果優先度評価結果：⑩ コスト削減優先度評価結果：⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	1. 市バスによる各福祉施設への送迎2. 市が主催する調査、研修、スポーツ及び各種大会行事参加者の送迎3. その他市長が必要と認める事業の送迎旧合志町では各種委員及び職員研修等の際の使用として、旧西合志町では福祉施設利用者の便宜を図るため福祉施設利用者の送迎、各種委員及び職員研修等の際の使用として運行していた。合併時に2台となり旧西合志町の福祉施設利用者の送迎、地域サロンの行事の送迎、市の行事の送迎の使用目的に統一した。区・自治会や地域の老人会の福祉施設利用の増加、また、地域サロン等の利用の増加により利用が増えてきている。ただし、白バス規制との絡みがある。H20.3.3「バス管理及び使用規程」を見直し、研修等の使用の際、使用者負担としていました道路通行料、駐車場料金及び運転手の宿泊費等のほかに、指定地域(片道直線で25km)を超えて運行する場合、ガソリン代を追加しました。また、使用の範囲の(3)、その他市長が必要と認める事業で使用する場合の適否の判断を関係課で行うこととしました。
【業務の流れ】	使用申請者が所定の申請書により申し込み、運行計画に添ってバスを運行する。
【主な予算費目】	職員手当、需用費(修繕料、燃料費)、役務費、公課費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	各種団体から利用できないかとの問い合わせが来ている。関係課を通じての申請をするのがわずらわしい。土日の利用も増え、運転手の時間調整が必要となっている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
各区・自治会老人会や各種団体の福祉施設への送迎、社会福祉協議会の各地域サロンの行事の送迎及び市や市に關係する団体が主催する調査、研修、スポーツ及び各種大会行事参加者の送迎を行った。	H21年度と同様各区・自治会老人会や各種団体の福祉施設への送迎、社会福祉協議会の各地域サロンの行事の送迎及び市や市に關係する団体が主催する調査、研修、スポーツ及び各種大会行事参加者の送迎を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: バス運行回数	回 非常勤のバス運転手を1人にしたことによる減
→ イ: 運行時間	時間
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民利用したいと思う市民	(単位) 件
	→ ア: 申請件数
	→ イ: 利用者数(延べ)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
市バスを使い各福祉施設を利用する市民が申請書どおり利用できる。	(単位) 件
	→ ア: 福祉施設を利用した申請数
	→ イ: 同 利用者数(延べ)
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
各区・自治会老人会や各種団体の福祉施設への送迎、社会福祉協議会の各地域サロンの行事の送迎及び市や市に關係する団体が主催する調査、研修、スポーツ及び各種大会行事参加者の送迎を行うことを目的としており、その主な福祉施設利用者数等を成果指標とした。	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	21年度	22年度	23年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 回	0	360	373	299	350	350	350	350
	イ 時間	0	1,600	1,849	1,500	1,600	1,600	1,600	1,600
② 対象指標	ア 件	0	360	380	299	350	350	350	350
	イ 人	0	9,800	10,122	7,241	10,100	10,100	10,100	10,100
③ 成果指標	ア 件	130	130	136	0	140	140	140	140
	イ 人	0	3,000	3,122	3,100	3,100	3,100	3,100	3,100
投資 入 費 量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	1,210	3,316	3,891	3,332	3,542	3,542	3,542
	(A) 事業費計	千円	1,210	3,316	3,891	3,332	3,542	3,542	3,542
	(A)のうち指定経費	千円	0	1,721	1,467	1,173	1,470	1,500	1,500
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	69	113	46	116	110	110
	人件費	人	2	3	2	6	6	6	6
延べ業務時間	時間	0	1,050	2,260	1,865	1,800	1,800	1,800	
(B) 人件費計	千円	0	4,326	9,311	7,530	7,416	7,416	7,416	
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,210	7,642	13,202	10,862	10,958	10,958	10,958	

事務事業名	市バスの維持管理事業(旧事業名：市バスの管理の適正化事業)	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	-------------------------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 H21年度で職員が1名退職したので、その代替員として非常勤職員1名を採用し、これまでと同様市バスの利用ができるよう対処した。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 使用に関し、市民に周知することで、更に利用回数を増やすことができる
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 各種団体、地域団体が利用する福祉施設利用者の送迎は目的地等が合志市循環・巡回バスの目的地と合致するものがあるので調整検討が必要である。また、各地域サロン事業は社会福祉協議会の事業であるので調整検討が必要である。そのほかには学童クラブ等の利用がある。今後は利用団体や使用目的等を併せて調整検討しなければならない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 バスの管理費のみである。ただし、H21年度で職員が1名退職したので、その代替員として非常勤職員1名を採用したのでH22年度は運転手報酬が増額となり事業費は増加する。ただし、H22年度でバスの必要台数を含め利用目的と類似する事業との調整が必要となったため関係課及び社会福祉協議会との調整を行うこととする。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 送迎等に要する最低限の時間である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 施設利用者が全市民対象であり、適正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 利用状況は各種団体、地域団体が利用する福祉施設利用者の送迎は目的地等が合志市循環・巡回バスの目的地と合致するものである。また、各地域サロン事業は社会福祉協議会の事業である。そのほかには学童クラブ等の利用がある。今後は利用団体や使用目的等を併せて調整検討しなければならない。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

利用状況は各区・自治会老人会や各種団体の福祉施設への送迎、社会福祉協議会の各地域サロンの行事の送迎及び市や市に關係する団体が主催する調査、研修、スポーツ及び各種大会行事参加者の送迎を行っており、高齢者の外出支援ができ健康づくりの推進に寄与している。  
H21年度は、運転手の代替員を委託か非常勤職員採用化の検討を行った。その際、運行状況を精査したところ類似事業の循環・巡回バスとの調整が必要となった。さらには社会福祉協議会の事業である地域サロンの事業を運行している。そのため必要台数及び利用対象者について関係課及び社会福祉協議会との調整を行う必要がある。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						